

第398回 長野放送番組審議会

1. 開催年月日 平成21年2月4日(水) 午前10:30より

2. 開催場所 長野放送会議室

3. 委員の出席

○委員総数 9名

○出席委員数 6名

○出席委員の氏名(敬称略・委員は50音順)

委員長 宮本忠長

副委員長 中村重一

委員 大橋俊夫

委員 小出貞之

委員 小松正俊

委員 塚田芳樹

4. 放送事業者側出席者

相崎由松(代表取締役社長)

瀬木 潔(代表取締役副社長)

堀 眞一(専務取締役・報道局制作局担当)

関 義仁(取締役編成局・番組審議会担当)

松田敏和(編成局長)

飯 嶋 憲彦(編成局編成部長兼視聴者室長)

岩村陽一(制作局プロデューサー)

一色貴子(報道局報道部)

山口慶吾(番組審議会事務局長)

5. 議 題

FNSソフト工場「美人で国語・算数・理科・社会」

2008年12月8日(月)午後7:00~7:54放送

6. 番組の内容

美人とはどういう人のことを言うのか。美人になるにはどうすればいいのか。などを、多彩なタレント陣が国語、算数、理科、社会各教科の見地から面白く探ろうというスタジオ・バラエティ。

7. 審議の概要

- 真面目に見るとつまらない番組になってしまうが。今時のクイズ番組とかトーク番組の流れの番組として見ると、それなりに面白い。
- 壇に並んだ女性達の紹介が中途半端だった。
- ドキュメンタリーの長野放送が、番組制作に新たな地平を開いたか。話題の人を並べてトークと蘊蓄をと、制作者の苦労が偲ばれた。
- それなりの蘊蓄もあったが、ヒナ壇にタレントを並べた今はやりの定番的な作り方だった。何か一工夫欲しかった。
- 外面的な美だけでなく、内面からの美しさという観点を引き出そうと工夫した部分もあったが、深く入らずに浅くいつってしまった。
- 全編を見るのが苦痛に感じられた。テレビでなくてはできない娯楽があるのではないか、考えさせられた。
- お笑いの部分と真面目な部分のバランスが良く、ローカル局制作の番組とは思えない出来だった。